



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 京王電鉄株式会社

コード番号 9008 URL <http://www.keio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 永田 正

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画本部経理部経理担当課長

(氏名) 齋藤 充

TEL 042-337-3135

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	189,091	△3.4	17,164	△10.5	15,698	△9.3	9,052	△12.6
23年3月期第2四半期	195,722	△1.6	19,167	17.4	17,309	20.9	10,358	29.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 7,508百万円 (12.5%) 23年3月期第2四半期 6,672百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	14.82	—
23年3月期第2四半期	16.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	760,136	257,077	33.8
23年3月期	746,979	251,405	33.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 257,077百万円 23年3月期 251,405百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	387,600	△0.9	26,800	△5.0	23,300	△5.2	12,600	35.8	20.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、四半期決算短信(添付資料)6ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	642,754,152 株	23年3月期	642,754,152 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	31,755,506 株	23年3月期	31,749,091 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	611,002,375 株	23年3月期2Q	611,033,238 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)6ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	6
2. サマリー情報(その他)に関する事項	6
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 継続企業の前提に関する注記	11
(4) セグメント情報等	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①当第2四半期連結累計期間の業績全般

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
連結営業収益	195,722	189,091	△ 6,631	△ 3.4	391,172
連結営業利益	19,167	17,164	△ 2,003	△ 10.5	28,221
連結経常利益	17,309	15,698	△ 1,611	△ 9.3	24,576
連結四半期(当期)純利益	10,358	9,052	△ 1,306	△ 12.6	9,276
連結E B I T D A	36,221	33,454	△ 2,767	△ 7.6	63,257
連結減価償却費	17,053	16,290	△ 763	△ 4.5	35,036

(注) 連結E B I T D Aは、連結営業利益 + 減価償却費により算出しております。

当社グループでは、平成22年度を起点とする「京王グループ中期5カ年経営計画」に基づき、安全性の向上や沿線の活性化を推進するとともに、「コスト構造の転換」と「財務体質の強化」を重視し、最終年度である平成26年度の目標に向けた施策を着実に実行しております。

平成23年3月に発生した東日本大震災(以下、震災)は業績にも少なからず影響を及ぼしましたが、当社グループでは、適切な営業施策やローコストオペレーションの推進などにより、利益の確保に努めてまいりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)の経営成績は以下のとおりとなりました。

連結営業収益は、不動産業を除く各セグメントで減収となり1,890億9千1百万円(前年同期比3.4%減)、連結営業利益は、流通業、不動産業を除く各セグメントで減益となったことから171億6千4百万円(前年同期比10.5%減)となりました。連結経常利益は156億9千8百万円(前年同期比9.3%減)、連結四半期純利益は90億5千2百万円(前年同期比12.6%減)となりました。

なお、連結E B I T D Aは、334億5千4百万円(前年同期比7.6%減)となりました。

また、連結減価償却費は、162億9千万円(前年同期比4.5%減)となりました。

②当第2四半期連結累計期間の各セグメント別の概況

(単位：百万円)

	営業収益			営業利益又は損失(△)		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率
			%			%
運輸業	64,069	62,130	△ 3.0	9,620	8,935	△ 7.1
流通業	81,622	79,936	△ 2.1	2,545	2,733	7.4
不動産業	12,432	12,614	1.5	4,686	5,043	7.6
レジャー・サービス業	33,529	29,357	△ 12.4	1,975	616	△ 68.8
その他業	18,881	18,168	△ 3.8	307	△ 131	—
計	210,536	202,207	△ 4.0	19,136	17,196	△ 10.1
連結修正	△ 14,813	△ 13,116	—	31	△ 32	—
連結	195,722	189,091	△ 3.4	19,167	17,164	△ 10.5

(運 輸 業)

鉄道事業では、少子高齢化に加え震災の影響などにより、旅客運輸収入が前第2四半期連結累計期間に比べ3.0%減（うち定期2.0%減、定期外3.8%減）となりました。バス事業では、路線で都区内・多摩地区ともに減収となったほか、タクシー業でも需要減などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は621億3千万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は89億3千5百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

(流 通 業)

百貨店業では、震災直後の一時的な買い控えからは持ち直しましたが、長引く個人消費の低迷などにより減収となりました。ストア業では、3月にリニューアルオープンした「キッチンコート」永福町店などが寄与したものの、既存店の売上不振などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は799億3千6百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益はローコストオペレーションの徹底によるコスト削減を実施した結果、27億3千3百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

(不 動 産 業)

不動産賃貸業では、昨年11月にオープンした商業施設「京王フレンテ新宿3丁目」や、3月にオープンした商業施設「京王リトナード永福町」が寄与したことなどにより増収となりました。不動産販売業では、八王子みなみ野シティにおける新築戸建住宅の販売戸数が前年同期に比べ増加したことなどにより増収となりました。これらの結果、営業収益は126億1千4百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は50億4千3百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

(レジャー・サービス業)

ホテル業では、「京王プラザホテル」で、震災直後に比べ回復傾向にはあるものの、訪日外国人客の減にとまなう宿泊需要の低迷などにより減収となりました。旅行業では、震災の影響を受け取扱高の減少などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は293億5千7百万円（前年同期比12.4%減）、営業利益は6億1千6百万円（前年同期比68.8%減）となりました。

(そ の 他 業)

建築・土木業では、民間からの受注増などにより完成工事高が増加し、増収となりました。一方、車両整備業では、車両改造の受注減などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は181億6千8百万円（前年同期比3.8%減）、営業損失は粗利益の悪化などにより1億3千1百万円となりました。

[鉄道事業輸送人員と旅客運輸収入]

			前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比(%)
輸送人員	定期	千人	186,840	183,401	△ 1.8
	定期外	〃	133,438	128,501	△ 3.7
	計	〃	320,278	311,902	△ 2.6
旅客運輸収入	定期	百万円	16,961	16,624	△ 2.0
	定期外	〃	22,590	21,730	△ 3.8
	計	〃	39,552	38,354	△ 3.0

[業種別営業収益]

(単位：百万円)

	業種別	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
運輸業	鉄道事業	40,655	39,452	△ 3.0	79,826
	バス事業	14,915	14,514	△ 2.7	28,437
	タクシー業	5,982	5,672	△ 5.2	11,794
	その他	1,087	1,111	2.2	2,170
	外部顧客に対する営業収益	62,640	60,751	△ 3.0	122,229
	セグメント間取引	1,428	1,379	△ 3.5	2,852
	営業収益	64,069	62,130	△ 3.0	125,081
	営業利益又は損失(△)	9,620	8,935	△ 7.1	11,009
流通業	百貨店業	44,889	43,295	△ 3.6	92,103
	ストア業	18,655	18,585	△ 0.4	37,682
	書籍販売業	5,382	5,229	△ 2.8	10,869
	駅売店業	4,641	4,578	△ 1.3	8,805
	その他	7,144	7,098	△ 0.6	14,527
	外部顧客に対する営業収益	80,713	78,788	△ 2.4	163,987
	セグメント間取引	909	1,147	26.3	2,328
	営業収益	81,622	79,936	△ 2.1	166,316
	営業利益又は損失(△)	2,545	2,733	7.4	4,629
	不動産業	不動産賃貸業	8,886	9,024	1.6
不動産販売業		1,863	1,913	2.7	3,291
その他		651	574	△ 11.7	1,286
外部顧客に対する営業収益		11,400	11,513	1.0	22,559
セグメント間取引		1,032	1,101	6.7	2,042
営業収益		12,432	12,614	1.5	24,601
営業利益又は損失(△)		4,686	5,043	7.6	8,579
レジャー・サービス業	ホテル業	16,863	13,564	△ 19.6	33,447
	旅行業	9,341	8,656	△ 7.3	16,028
	広告代理業	2,348	2,350	0.1	5,093
	その他	3,155	3,080	△ 2.4	5,904
	外部顧客に対する営業収益	31,708	27,651	△ 12.8	60,474
	セグメント間取引	1,820	1,705	△ 6.3	4,674
	営業収益	33,529	29,357	△ 12.4	65,148
	営業利益又は損失(△)	1,975	616	△ 68.8	2,864
その他業	ビル総合管理業	4,377	4,277	△ 2.3	9,202
	車両整備業	2,564	1,917	△ 25.2	6,067
	建築・土木業	1,808	3,648	101.7	5,634
	その他	507	543	7.1	1,017
	外部顧客に対する営業収益	9,259	10,386	12.2	21,921
	セグメント間取引	9,622	7,782	△ 19.1	30,542
	営業収益	18,881	18,168	△ 3.8	52,463
	営業利益又は損失(△)	307	△ 131	—	1,634

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間	増減額
総資産	746,979	760,136	13,157
負債	495,574	503,058	7,484
純資産	251,405	257,077	5,672
負債及び純資産	746,979	760,136	13,157
有利子負債	317,762	333,545	15,782

(注)有利子負債は、借入金 + 社債 + 鉄道建設・運輸施設整備支援機構未払金により算出しております。

当第2四半期連結会計期間の総資産は、減価償却費計上による有形固定資産の減少などがありましたが、短期資金運用を目的とした譲渡性預金の取得などにより131億5千7百万円増加し7,601億3千6百万円となりました。

負債は、工事代金の支払いなどによる減少がありましたが、社債の発行などにより74億8千4百万円増加し5,030億5千8百万円となりました。

純資産は、連結四半期純利益の計上などにより56億7千2百万円増加し2,570億7千7百万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間の有利子負債は3,335億4千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向および当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、当連結会計年度の連結業績予想について、平成23年9月27日公表の予想（前回公表値）を以下に記載のとおり修正しております。

(単位：億円)

	当連結会計年度 (予想) 【前回公表値】	当連結会計年度 (予想)	対前回公表値 増減率	(参考) 対前期増減率
連結営業収益	3,876	3,876	—	△ 0.9
連結営業利益	257	268	4.3	△ 5.0
連結経常利益	222	233	5.0	△ 5.2
連結当期純利益	120	126	5.0	35.8
連結E B I T D A	602	613	1.8	△ 3.0
連結減価償却費	345	345	—	△ 1.3

(注) 1. 前回公表値は平成23年9月27日公表の当期の業績予想であります。

2. 連結E B I T D Aは、連結営業利益 + 減価償却費により算出しております。

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	当連結会計年度 (予想)	対前回公表値 増減率	(参考) 対前期増減率	当連結会計年度 (予想)	対前回公表値 増減率	(参考) 対前期増減率
運輸業	1,235	—	△ 1.2	104	6.1	△ 5.1
流通業	1,654	—	△ 0.5	48	2.1	4.6
不動産業	254	—	3.4	93	1.1	8.5
レジャー・サービス業	609	—	△ 6.5	15	14.6	△ 45.3
その他業	488	—	△ 6.8	6	16.8	△ 57.4
計	4,242	—	△ 2.2	268	4.3	△ 6.5
連結修正	△ 366	—	—	△ 0	—	—
連結	3,876	—	△ 0.9	268	4.3	△ 5.0

(注) 連結業績予想は、公表時現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想と大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,482	48,549
受取手形及び売掛金	27,635	25,611
有価証券	—	12,530
商品及び製品	15,690	15,363
仕掛品	682	1,265
原材料及び貯蔵品	1,438	1,557
その他	8,729	9,851
貸倒引当金	△124	△127
流動資産合計	95,534	114,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	246,600	247,461
土地	166,729	167,411
建設仮勘定	113,156	110,953
その他（純額）	53,832	50,712
有形固定資産合計	580,318	576,538
無形固定資産	6,781	6,192
投資その他の資産		
投資有価証券	42,630	40,353
その他	22,055	22,792
貸倒引当金	△341	△340
投資その他の資産合計	64,344	62,805
固定資産合計	651,445	645,536
資産合計	746,979	760,136

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,011	12,758
短期借入金	51,807	52,233
未払法人税等	4,864	7,287
引当金	4,052	7,577
その他	101,212	90,751
流動負債合計	177,948	170,609
固定負債		
社債	128,251	148,541
長期借入金	136,943	132,126
退職給付引当金	22,557	21,829
その他	29,872	29,951
固定負債合計	317,625	332,449
負債合計	495,574	503,058
純資産の部		
株主資本		
資本金	59,023	59,023
資本剰余金	42,009	42,008
利益剰余金	166,492	173,711
自己株式	△19,165	△19,167
株主資本合計	248,360	255,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,044	1,501
その他の包括利益累計額合計	3,044	1,501
純資産合計	251,405	257,077
負債純資産合計	746,979	760,136

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益	195,722	189,091
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	153,867	149,791
販売費及び一般管理費	22,687	22,135
営業費合計	176,554	171,926
営業利益	19,167	17,164
営業外収益		
受取利息	29	26
受取配当金	505	507
受取保険金	—	317
匿名組合投資利益	284	245
持分法による投資利益	90	48
雑収入	317	431
営業外収益合計	1,226	1,576
営業外費用		
支払利息	2,772	2,795
雑支出	312	246
営業外費用合計	3,084	3,042
経常利益	17,309	15,698
特別利益		
工事負担金等受入額	44	254
受取補償金	—	229
固定資産売却益	492	29
その他	209	15
特別利益合計	747	529
特別損失		
固定資産圧縮損	44	254
固定資産除却損	204	88
退店補償金	270	20
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	395	—
その他	64	6
特別損失合計	979	370
税金等調整前四半期純利益	17,077	15,857
法人税等	6,718	6,804
少数株主損益調整前四半期純利益	10,358	9,052
四半期純利益	10,358	9,052

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,358	9,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,685	△1,543
その他の包括利益合計	△3,685	△1,543
四半期包括利益	6,672	7,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,672	7,508
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
営業収益	64,069	81,622	12,432	33,529	18,881	210,536	△14,813	195,722
セグメント利益	9,620	2,545	4,686	1,975	307	19,136	31	19,167

(注) 1 セグメント利益の調整額31百万円はセグメント間取引消去額です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
営業収益	62,130	79,936	12,614	29,357	18,168	202,207	△13,116	189,091
セグメント利益 又は損失(△)	8,935	2,733	5,043	616	△131	17,196	△32	17,164

(注) 1 セグメント利益の調整額△32百万円はセグメント間取引消去額です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
該当事項はありません。